

令和2年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 教育学部東紀州サテライト東紀州教育学舎
氏 名 大野 恵 理

活動テーマ	東紀州における小学校外国語(英語)教育システム開発と支援活動																												
実施期間	令和2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日																												
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容</p> <p>①複式学級用年間指導計画の開発 各小学校においては、令和2年度の新学習指導要領の実施により、小学校第5・6学年の外国語(英語)が教科化され、教科書が発行された。本予算を基に、教科書および指導書(デジタル教材)を購入し、東紀州地域5市町の複式学級で活用できる「複式版年間指導計画」を開発した。5市町の1校を除くすべての複式学級で活用されている。</p> <p>②複式学級用年間指導計画の普及 上記で開発した年間指導計画を普及するため、出前授業(示範授業)をしたり、教員研修を行った。コロナ感染症の影響下であっても、「大野先生なら安心して講師として来てもらいたい」という学校が多く、本予算で行った3年間の地域貢献活動が実を結び、信頼を得られた考える。</p> <p>(2) 地域への貢献(地域の発展・活性化への寄与, 広がり) (1)の取り組みを行っているのは、三重大学東紀州サテライトだけである。コミュニケーション活動が中心の小学校外国語(英語)を、複式学級で効果的に指導するための新しい方法で、東紀州サテライトでは平成29年度より開発を開始し、本予算を活用して平成30年度より普及活動を行っている。学会発表を積極的に行い、メディア(新聞)でも取り上げられた。</p> <p>(3) 共同実施者との連携状況 共同実施者の5市町教育委員会には、月1回程度は訪問するなど連携を密にしている。令和3年度も、各教育委員会等主催の小学校外国語研修会・中学校英語教員研修会等に講師として招聘された。</p> <p>(4) 大学の教育・研究成果のかかわり 教育学部2年生および教職大学院生で、本支援活動の概要や、東紀州地域における小学校外国語教育について、講義を担当した。さらに、三重大学教育学部研究紀要や、学会での東紀州版複式学級用年間指導計画や、成果・課題、利用している教員の声等を調査研究して発表した。</p> <p>(5) イベント等開催実績(名称, 実施場所, 参加人数等) 東紀州地域で、出前授業および教員研修を以下の通りに実施した。</p> <table border="1" data-bbox="405 1928 1442 2085"> <thead> <tr> <th></th> <th>出前授業</th> <th>児童・生徒数</th> <th>教員研修</th> <th>教員数</th> <th>打合せ</th> <th>*参考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>48回</td> <td>?</td> <td>15回</td> <td>?</td> <td>?</td> <td>8月開始</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>122回</td> <td>1548人</td> <td>20回</td> <td>267人</td> <td>32回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>106回</td> <td>1238人</td> <td>27回</td> <td>322人</td> <td>39回</td> <td>コロナ</td> </tr> </tbody> </table>		出前授業	児童・生徒数	教員研修	教員数	打合せ	*参考	H29	48回	?	15回	?	?	8月開始	H30	122回	1548人	20回	267人	32回		R1	106回	1238人	27回	322人	39回	コロナ
	出前授業	児童・生徒数	教員研修	教員数	打合せ	*参考																							
H29	48回	?	15回	?	?	8月開始																							
H30	122回	1548人	20回	267人	32回																								
R1	106回	1238人	27回	322人	39回	コロナ																							

	R2	95回	1035人	16回	151人	47回	コロナ
<p>(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について</p> <p>複式版年間指導計画の学会での発表を視聴した松阪市立機殿（はたどの）小学校からの支援要請を受け、「複式版年間指導計画」の提供をした。松阪市には複数の小学校において、複式学級での外国語教育で支援が必要な小学校がある。令和2年度で本支援活動が終わるが、松阪市教育委員会と三重大学教育学部は教育支援提携として、松阪市への支援活動を継続する予定である。</p> <p>複式学級における外国語教育で困っているのは東紀州地域だけではない。本支援活動予算で開発した「複式版年間指導計画」については、北海道教育大学「へき地教育研究第75号2020」において発表し、発信することができた。</p> <p>https://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/public/bulletin/edu_research/2020.html</p>							

東紀州サテライト通信33号を添付します。

裏面に「地域貢献活動」で行った活動の概要と写真（Web掲載可）が記載されています。

夏がやってきました。教育学舎は、東紀州及びその周辺地域の教育を様々な形でサポートしています。今号は、御浜町立尾呂志学園小中学校のプログラミング出前授業、東紀州サテライトと三重大学と Zoom で結んだ授業や地域貢献活動について紹介します。

スクラッチプログラミング出前授業 ～御浜町立尾呂志小中学校～

COVID-19 への安全対策をとりながら7月7日(火)に、御浜町立尾呂志小中学校で、プログラミングの出前授業を行いました。学校の要請を受けたもので、NHK テレビ「まるっと！みえ」でも放映されました。

小学1～2年生6名は、大野准教授が担当し、iPadで命令ブロックを組み合わせてキャラクターを動かし、踊らせたり歌わせたりしました。

また、3～6年生5名と中学1～3年生8名は、須曾野教授が指導し、ノートパソコンを使用して画面上の猫を動かす簡単なプログラムから始まり、「デジタル水族館」「デジタル御浜町」「デジタル尾呂志学園」というテーマで複数の動物や人を動かすプログラムを2時間かけて完成させました。中学生の中にはプログラム経験者もいて、さらに数学で学んだ内容を加えて、レベルの高い作品を作り上げていました。



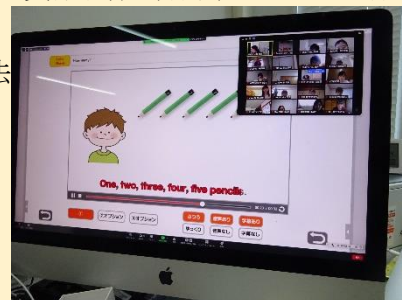
Zoomを利用して三重大学の授業を行っています！ ～大野准教授が東紀州から授業を担当～

三重大学教職大学院では Zoom を利用したオンライン授業を行っています。昨年度は、東紀州サテライトと三重大学を大型テレビで結んだテレビ会議システムで結んだ遠隔授業でしたが、今年は Zoom を使い、一人一人のパソコンの画面を通じての授業です。大野准教授が東紀州サテライト教育学舎から、Zoom 授業の一部を担当しました。7月9日(木)には、9月に行われる東紀州長期実習に参加する院生(1年次現職院生10名、2年次学部新卒院生3名)に事前指導を担当しました。東紀州での特色ある教育実践や複式学級指導等、話を聞いた院生たちは実習に向けて心構えが持てたようでした。また、7月10日(金)の教職大学院授業「専門職(プロフェッショナル)としての教師論」では1年次院生17名に、大野准教授が「小学校英語の授業実践や学習指導」についてオンライン授業を行いました。写真のようにジェスチャーを取り入れ、少人数の良さを活かした英語授業(活動)やICTの活用について、院生たちは大変興味を持ちました。



7月13日(月)、東紀州から Zoom を用いて教育学部教職授業「教育の方法と技術」で93名の学生に大野准教授が講義しました。学生たちの声に応え、英語の授業にICTをどのように活用するのか等、動画教材を使いながら学生たちが3年生の「I like～」の単元の授業を体験する形で行いました。

さらに、Zoomでの小グループで自己紹介をする時間も設けられ「ICTを活用した英語の指導技術や方法などを知って役に立った。」や「英語教育の最新事情や専門用語、ポイントを知れた。」「歌って学ぶのが楽しかった。」という声などがありました。



三重大学地域貢献活動 ～出前授業や研修のご案内～ (小学校外国語活動・外国語およびプログラミング教育)

三重大学は、「三重から世界へ：地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出す。～人と自然の調和・共生の中で～」をミッションとして、教職員を代表者とする教育・研究に基づく自主的な活動を「三重大学地域貢献活動支援事業」として三重県内各地で進めています。

東紀州教育学舎では、2つのプロジェクトを立ち上げ、どちらも3年目最終年度を迎えています。

①「東紀州地域における小学校外国語（英語）教育システム開発と支援活動」

- 各市町教育委員会との共催によるプログラミング研修会の実施
- 出前授業の実施
- 各教科におけるプログラミング授業計画の作成等及び公開
- デジタル教材の作成
- 教員向けの自習デジタル教材の作成
- Moodle(学習管理システム)を使った東紀州ラーニングコミュニティの立ち上げ



②「論理的思考能力を育成するプログラミング学習の教材開発と東紀州地域での支援活動」

- 年間指導計画の作成と公開
- 各授業の授業計画の作成と公開
- 出前授業の実施
- 市町教育委員会との共催による英語研修会の実施
- 教材の作成・配布及び配信



本プロジェクトでは、安全対策を十分講じた上で、出前授業や教員研修を積極的に進めてまいります。

ご希望の学校は、ぜひお問い合わせください。→Tel: 0597-89-7015 E-mail: edu-hksat@edu.mie-u.ac.jp

トピックス

- ・ 紀北町・尾鷲市・熊野市・御浜町・紀宝町の各教育委員会、紀州教育支援事務所、尾鷲高校木本高校・くろしお学園・紀南高校、を訪問し、通信の配付等を行いました。(2020年6月22・23日)
- ・ 教育学舎において、熊野市教育委員会からの社会教育関係の事業に関する相談に対応しました。(2020年6月24日)
- ・ 尾鷲市立賀田小学校、輪内中学校を訪問し、打ち合わせ等を行いました。(2020年6月24日・7月2日)
- ・ 木本高校で、教科書委員会・サポート委員会に参加しました。(2020年6月24日)
- ・ 熊野市立新鹿小学校を訪問し、打ち合わせを行いました。(2020年6月29日)
- ・ 尾鷲市・熊野市教育委員会を訪問し、打合せ、意見交換等を行いました。(2020年6月30日・7月1・8・13・14日)
- ・ 御浜町立尾呂志小中学校でプログラミングの出前授業を行いました。(2020年7月7日)
- ・ Zoomで三重大学教職大学院の授業を担当しました。(2020年7月9日)
- ・ Zoomで三重大学教育学部の授業を担当しました。(2020年7月13日)



東紀州サテライト

東紀州教育学舎



〒519-4394 三重県熊野市木本町 1101-4
三重県立木本高等学校 旧寄宿舎(南風寮)
Tel: 0597-89-7015 Fax: 0597-89-7015
E-mail: edu-hksat@edu.mie-u.ac.jp



メンバー

東紀州教育学舎長：鶴原 清志
専任教員：大野 恵理
特任教員：榎本 和能
萩野 真紀

プロジェクト教員：須曾野仁志
磯野 巧
市川 俊輔
事務補佐員：村井美恵子

* プログラミング学習や外国語活動の出前授業などお気軽にご連絡・ご相談ください。